

令和4年度 主要施策の取組状況報告(9月末時点)

● 主要施策

1. 高速交通アクションプログラム

2. 健康のまちづくり

3. 大野ですくすく子育て応援パッケージ

} 重点プロジェクト

4. 脱炭素

5. 移住定住

6. 地域づくり

7. デジタル化

8. 新しい時代の学び舎づくり

9. 新型コロナウイルス感染症対策

● 対象期間

令和4年4月～9月(上半期)

第3回大野市総合計画・総合戦略推進会議

日時: 令和4年11月7日(月)午前10時～

会場: 結とぴあ305・306

1. 高速交通アクションプログラム

【中部縦貫自動車道の整備促進】

- 市内で「大野油坂道路整備促進大会」が5月に開催され、早期開通に向けて必要な予算措置を決議
- 1日も早い県内全線開通に向けて、国土交通省、県選出国會議員などに要望
- 大野油坂道路に設けられる4カ所のインターチェンジの名称が「荒島IC」「勝原IC」「下山IC」「九頭竜IC」に決定

【星空保護区認定に向けた取り組み】

- 星空保護区の認定に向け外灯の光害対策を進めるとともに、公共施設7カ所で星にまつわる展示会を開催
- 「星空ハンモック」を実施する星空活用推進団体「MOFネットワーク」が雨天時に楽しめるプラネタリウムを導入
- 星空観光を推進するため事業者の星空観光バス改修を支援。地域おこし協力隊が星をモチーフにグッズを制作

【産業ブランド力の向上】

- 「越前おおの産業ブランド力向上戦略」に基づいて、事業者の稼ぐ力を応援するため、若手専門家による「結の故郷ビジネスサポートチーム(結サポ)」を5月に結成。毎月、相談会を開催し、課題解決に取り組む事業者に経営診断や助言
- 大野の魅力をSNSで定期的に発信し、ファンを獲得するため、Instagramに「越前おおのブランド公式」アカウントを設け、5月から情報発信 ※「7. デジタル化」にも関連



結サポのメンバー

【観光誘客の推進】

- 道の駅「越前おおの 荒島の郷」で4月に開駅1周年イベントを開催。8月には来場者100万人を達成し、感謝イベントを開催。まちなかには、御清水のカラフル提灯、武家屋敷旧田村家の風車や旧内山家の夏障子、結楽座の手ぬぐい回廊など、「インスタ映え」するスポットを設置
- 8月に「おおの城まつり」を感染症対策を講じて3年ぶりに開催。民間団体が、5月に「九頭竜まるごと体験マルシェ」、9月に「六呂師高原アルプス音楽祭」を開催

【公共交通の利用促進】

- 「越美北線と乗合バスに乗り運動を進める会」が、高校生や地域住民らとJR越美北線の利用促進と駅周辺のにぎわいづくりを考えるワークショップを開催
- 九頭竜湖駅と長良川鉄道北濃駅を観光バスでつなぐ「幻の越美線を行く鉄道バスの旅」を5回実施。9月と10月に越美北線のサイクルトレインモニターツアーを実施



高校生らと交えたワークショップ

2. 健康のまちづくり

【おおのヘルスウォーキングプログラム】 ※「7. デジタル化」にも関連

- 健康寿命延伸と医療費削減などを目的に、「おおのヘルスウォーキングプログラム2022」を実施(本年度で3年目)。参加者に活動量計を持ってもらい、ポイント制による活動の動機づけを促進
- 対象年齢を、昨年度までの「40歳以上」から「30歳以上」に引き下げて募集し、新たに969人が参加(令和2年度は200人、令和3年度は700人が参加)
- 参加者にモチベーションを高めて歩いてもらえるよう、正しい歩き方講座や公民館が企画する健康づくりイベントの参加者にポイントを付与



公民館での健康づくりイベント

【オンライン診療】 ※「7 デジタル化」にも関連

- へき地診療所の医療体制を強化するため、7月から和泉診療所においてオンライン診療の実証を開始

3. 大野ですくすく子育て応援パッケージ

【大野ですくすく子育て応援パッケージ】

- 妊娠期や乳児期、学童期などライフステージごとの支援策をパンフレットに取りまとめ(本年度で3年目)
- 予防接種再接種費用助成など新規に2事業を追加、男性向けの不妊治療助成など8事業を拡充し、全50事業を掲載。市ホームページにアクセスできるQRコードも新たに掲載

【長期休業中の子どもの居場所づくり】

- 夏休み期間に学習や体験ができるよう、5つの公民館で各1日、「夏休み子どもチャレンジ教室」を開催
- 夏休み期間の行事を「夏休みわくわくカレンダー」に分かりやすくまとめて情報発信

【屋内型の子どもの遊び場づくり】

- 雨や雪が降った時でも子どもが遊べる「屋内型の遊び場」の整備に向けて、市民ニーズを把握するため、9月に子どもの保護者(2,358人)にアンケートを実施



夏休み子どもチャレンジ教室

4. 脱炭素

【フードドライブ】

- 食品ロスの削減と生活困窮家庭の支援を目的に、家庭で使わず眠っている食材を施設や団体などに寄附する「フードドライブ」を6月に実施(12月にも実施予定)
- 市役所や9カ所の全公民館、「県民せいきょう大野きらめき」で食品を受け付け。607点、約170kgの食品と、米約210kgが集まり、自立相談支援センター「ふらっと」を通して必要としている人にお届け



フードドライブで集まった食品

【農業の脱炭素化】

- 農作業でのCO₂削減のため、バッテリー充電式刈払機の新規購入や、既存のエンジン式刈払機からの買替購入に対する補助制度を創設(9月末までに55件の申請を受け付け)
- プラスチックごみの削減と農業の省力化を促すため、昨年度に続き、里芋を栽培する農業者に生分解性マルチの購入費用を補助(9月末までに6件の申請を受け付け)

【公共施設太陽光発電導入調査】

- 約30の公共施設で太陽光発電設備の簡易的な導入可能性調査を行い、このうち5施設で詳しい調査を実施

【消費者団体による生ごみ減量化の実証実験】

- 消費者団体の協力を得て、家庭用生ごみ処理機を用いた生ごみの減量化や堆肥化の実証実験を実施

【ライトダウンキャンペーン】

- 電気の明かりを消して星空を見ながら、省エネや光害について考えてもらうきっかけにもらうため、7～8月の3日間に、市民に参加を呼び掛けて実施(昨年度から実施)

【脱炭素推進本部】

- 全庁的に脱炭素に取り組むため、9月に脱炭素推進本部(本部長:市長)を開き、部局ごとにCO₂削減に向けた取り組みなどを報告(昨年度に続き2回目の実施)

5. 地域づくり

【地区ごとの課題解決に向けた取り組み】

- 地区のさまざまな課題を全体的に捉えて、自主的・効率的に解決しようと取り組む団体や活動の立ち上げを公民館が支援し、下庄、上庄の2地区で新たな活動が開始（昨年度までに、大野、阪谷、和泉の3地区で活動が開始）
- 大野地区課題解決検討会が、各団体の役員を対象に、9月に地域の未来を考えるミニフォーラムを開催



大野地区でのミニフォーラム

【第二層協議体の立ち上げ支援】

- 住民主体の助け合いによる高齢者への生活支援体制づくりを進めるため、住民向け勉強会を開催した結果、新たに下庄地区で「公民館単位での話し合いの場である協議体（第二層協議体）」が設置

【地域防災マップの作成支援】

- 地域の防災力を強化するため、地域の危険箇所や避難場所を地図上に記した「地域防災マップ」を作成する自主防災組織を支援する補助制度を創設（9月末までに2件の申請を受け付け）

6. 移住定住

【移住相談】

- 7月に大阪で開催された移住フェア「おいでや！田舎ぐらし」に参加（4件の相談を受け付け）
- お盆の帰省時期に合わせて、横町スタジオ（日吉町）で「移住相談会」を開催（5件の相談を受け付け）
- 9月末までに市の移住支援を受けて16人・8世帯が移住（前年度同時期は9人・6世帯）

【空き家の利活用】

- 移住者の住まいとして空き家を利活用するため、空き家の家財道具の処分を支援する補助制度を創設（9月末までに10件の申請を受け付け）
- 空き家情報バンクに9月末までに18件を新規登録（前年度同時期は7件）
- 空き家の利活用、相続などの悩みや不安に、宅地建物取引士、司法書士などの専門家が応じる「空き家相談会」を8月に開催（12件の相談を受け付け）
- 福井工大と関西大の学生に空き家の利活用策を提案してもらうワークショップを8月に開催



空き家相談会

7 デジタル化

【公民館でのオンライン相談窓口】

- 市役所から離れた地域の住民が市役所に行かなくても担当職員と相談などができるよう、公民館と市役所をつなぐ「オンライン相談窓口」の運用に向けて、9月から和泉公民館で実証開始(今後、全公民館で導入予定)

【情報通信基盤の整備】

- 和泉地区の情報通信基盤を整備するため、電気通信事業者が行う光ファイバー敷設による高速ブロードバンド環境の整備を支援(来年4月のサービス開始を予定)

【農林業でのデジタル活用】

- 大野産野菜の魅力発信を目的に、Instagramを使った「大野産野菜応援コンテスト」の参加者を募集(9月末までに22件の投稿を受け付け)11月まで募集し、来年1月に審査
- 市が活動支援する猟友会大野支部が、クマやカワウの生息調査にドローンを活用



大野産野菜応援コンテスト

【保育園・認定こども園の紹介動画】

- コロナ禍で保育園と認定こども園の見学が制限される中、入所の参考としてもらうため、市内全園の紹介動画を作製し、動画投稿サイトで配信

【デジタル・デバйд対策】

- 市民のデジタル活用を支援するため、電気通信事業者を講師とした「スマートフォン操作講座」、職員を講師とした「おおの割(電子クーポン)の使い方講座」を各公民館で開催

【マイナンバーカード】

- マイナンバーカードの普及促進に向けて、市役所内の特設窓口でマイナポイント第2弾の付与を支援。企業や団体に出張申請窓口の利用を呼び掛け(9月末までに11回出張)
- マイナンバーカード普及率は9月末時点で52.9%(県平均48.5%・国平均49.0%)
- マイナンバーカードの健康保険証利用を可能とするため、「休日急患診療所」に専用の読み取り機器を導入(10月から運用開始)



マイナポイント支援窓口

8. 新しい時代の学び舎づくり

【中学校再編に向けた協議】

- 保護者、地域及び学校が協働して、学校再編の準備や諸課題について協議を行うため、再編準備委員会を6月に「新開成中学校」「新陽明中学校」ごとに立ち上げ
- 2つの再編準備委員会の下に、それぞれ、「総務」「PTA」「学校運営」「通学安全」の4つの部会を設けて協議を開始。（9月末までに部会ごとに2～3回の会合を開催）
- 8月下旬に「学校再編準備委員会だより」を発行し、協議結果を保護者や市民にお知らせ



再編準備委員会

【学校施設の改修】

- 小中学校再編に伴う学校改修工事に係る実施設計業務では、公募型プロポーザルを行い、8月中旬に最優秀提案者と委託契約を締結。9月に開成及び陽明中学校を対象に教職員のワークショップを開催し、施設の現状などについて意見交換を実施。また、下庄小学校では9月下旬に小学3年生以上を対象に学校改修に関するアンケートを実施。

9. 新型コロナウイルス感染症対策

【感染症防止対策】

- 4回目の対象となる者にワクチン接種を6月から開始。5～11歳の3回目の小児用ワクチン接種を9月から開始（オミクロン株対応ワクチンについては、対象者に10月から接種を開始）

【生活支援対策】

- 住民税の非課税世帯など295世帯に対し、7～9月に1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を給付（令和3年度中に受給していない人が対象）

【経済対策】 ※「7 デジタル化」にも関連

- 市内店舗で利用できる電子クーポン「おおの割」を発行するとともに、秋の観光シーズンに向けて、より割引率の高い「もっとおおの割」を9月から発行

